



HMT（ヒューマンメタボロームテクノロジーズ）社は社長に菅野隆二氏を招聘

2008年1月15日

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社（代表取締役社長：大滝義博、本社：山形県鶴岡市。以下「HMT」と呼ぶ。）は、本日開催の取締役会において、前アジレント・テクノロジー株式会社代表取締役副社長 菅野隆二氏の当社代表取締役社長就任の人事を内定しましたので、お知らせ致します。なお、本人事は2008年2月1日開催予定のHMT臨時株主総会における取締役選任を前提として、当該臨時株主総会終了後に開催予定の取締役会において正式に審議決定される予定です。現代表取締役社長の大滝は、代表取締役会長として引き続きHMTの経営に参画する予定です。

現在、世界はポストゲノム時代に突入しており、トランスクリプトーム、プロテオームの開発競争が続いております。メタボロームはこれらに続くロードマップとして注目されている技術分野で、その解析技術はバイオマーカー探索、代謝パスウェイ解明、創薬研究などに加え、最近の原油高を背景にしたバイオマス利用によるバイオエタノール生産用微生物の代謝効率改善、発酵産業での生産効率化、低コスト化など、幅広い産業分野での利用が期待されています。HMTは慶応義塾大学との共同研究を通じて本分野での世界最先端となる研究開発をリードして来ました。

今回の社長人事の狙いは、菅野氏が持っている分析機器、解析システム・ビジネスでのグローバルな経験を生かし、HMTの持つキャピラリー電気泳動装置—質量分析計（CE-MS）技術をベースとしたメタボローム解析技術を国内ばかりではなく、全世界へと展開をはかり、ビジネスを急速に成長させること、加えて、近い将来のIPOに向け、磐石な経営管理体制を確立することにあります。

菅野氏は内定受諾にあたり、次のようにコメントしています。

「メタボローム分野の研究はまだ成熟度が低く、解析技術もまだ主役が確立されている訳ではありません。いくつかの解析手法の中で、日本で開発（慶応義塾大学 曾我朋義教授）されたCE-MSをベースにした解析技術は、現在もっとも注目されている網羅的な解析技術です。このメタボローム解析技術を日本発の世界標準にできる可能性があり、この技術をワールドワイドに展開する意義はきわめて大きいと考えています。そのためには、バイオマーカー探索分野などでメタボローム解析の有用性について、いち早く実績を出すことが重要です。そのため、更なる研究開発投資が必要となりますが、その投資は海外マーケットを視野に入れたビジネス展開をすることと、解析の効率を高めることで十分に回収できると考えています。また、最近では原油高の状況下で、未利用資源であるバイオマスの利用を促進させる切り札（微生物発酵の代謝系解明）としてのメタボローム解析技術が注目されています。このように応用分野は広く、さらに大きな成長が約束されたビジネス



と考えて、自信をもって、お引き受けしました。」

HMT では今回の社長人事により経営体制を強化し、バイオマーカー探索にかかわるデータベースの構築、解析技術の精度・スピードを向上するノウハウ蓄積を加速し、国内ばかりではなく、ワールドワイドでのメタボローム解析ビジネスでの差別化をはかり、急速なビジネス拡大を計画しています。

(ご参考 HMT について)

HMT は、慶応義塾大学先端生命科学研究所所長の富田勝教授および曾我朋義教授によって設立された慶応義塾大学発のベンチャー企業です。HMT は、キャピラリー電気泳動装置—質量分析計 (CE-MS) を用いたメタボローム解析技術により、数百種類もの代謝化合物を一斉に測定し、同定できます。製薬企業や食品企業と提携し、医薬品の開発や、発酵食品分野における研究開発を支援するほか、アジレント・テクノロジー社と共同で、メタボロミクスソリューションパッケージを開発し、アジレント・テクノロジー社を通じて販売しています。また、がんや精神疾患領域での疾患バイオマーカーの探索研究に注力しています。

<http://humanmetabolome.com/jp/>

(ご参考 菅野 隆二 氏 略歴)

新役職名 (予定)	代表取締役社長
氏名	菅野 隆二
生年月日	1950年3月23日生
略歴	1973年 東京理科大学 工学部卒業
	1974年 横河・ヒューレット・パッカー株式会社入社
	1984年 横河電機株式会社に移籍
	1992年 横河アナリティカルシステムズ株式会社に移籍 営業本部長
	1996年 事業本部長
	1997年 取締役 事業本部長に就任
	1999年 代表取締役社長兼事業本部長に就任
	2006年 代表取締役社長兼営業統括本部長に就任
	2007年 アジレント・テクノロジー株式会社代表取締役副社長
	ライフサイエンス・化学分析統括本部長に就任
	(2007年12月31日付 退任)

(ご参考 CE-MS 技術によるメタボローム解析について)

生体内には数千種以上の代謝物質が存在するといわれていますが、その大半はイオン性の物質で



す。CE-MSによるメタボローム解析は、そのイオン性代謝物質を短時間に高感度で包括的な分離分析を可能にする技術で、代謝物質に化学的な変化を与えずそのままの状態です。創薬や診断分野で注目されているバイオマーカー探索や、微生物による発酵技術の開発に威力を発揮します。

本件に関するお問合せ

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

管理部 村上 秀明 電話：03-3562-7117